

川口清史・角頼保雄・浜岡政好・鈴木彰（1999）「『非営利・協同』の探求」（座談会）『経済』1999年1月号。

角頼保雄（2000）『非営利・協同と民主的医療機関』同時代社。

- 3) 『生協による医療・福祉サービスのネットワーク形成を図るモデル事業報告書』1999年3月、財団法人生協総合研究所、71-72頁。
- 4) 筆者の医療生協に関する包括的な議論は、「医療生協と高齢者——特色ある健康観・医療観と総合的取り組み」を参照。『協同組合研究』No.38、1997年6月。
- 5) 桜井泰平（日本生協連医療部会事務局長、当時）、「医療生協が取り組む『高齢者の保健・医療・福祉ネットワーク』」『生協による医療・福祉サービスのネットワーク形成を図るモデル事業報告書』生協総合研究所、2000年3月、23頁。
- 6) 『医療生協運動』2000年3月、No.391。
- 7) 松本弘道（庄内医療生協専務理事）「安心して住みつづけられるまちをめざして——鶴岡における非営利・協同の到達と展望」『第5回全日本民医連学術・運動交流集会報告』、2001年9月20日。
- 8) コープくらしのたすけあいの会『活動の記録』（1992年度～1994年度）。
- 9) コープくらしのたすけあいの会『第7回定期総会議案書』2001年6月20日。
- 10) 岩本鉄弥「庄内医療生協と生協共立社が共同で進めた老健施設」生協総研レポート、No.13、「福祉を中心にした協同組合の新たな役割——第1回、全国コミュニティ・コープ研究会の記録』1996年。
- 11) 湯沢地区「ふれあい茶話会」のルポルタージュが、日本生活協同組合連合会医療部会情報誌『COMCOM』2001年7月号に掲載されている。遠藤氏へのインタビューも含まれている。
- 12) 前出、『生協による医療・福祉サービスのネットワーク形成を図るモデル事業報告書』2000年3月に経過と実践の報告が記載されている。
- 13) 前出11)、12)にも茶話会の具体的内容が記載されている。毎回、若干の相違はあるものの大枠では同様のプログラムである。